

長年の功績を称える受章 令和8年度春の叙勲受章報告



▲（左から）高橋町長、片平さん、原賢志議長

前桑折町議会議長の片平秀雄さんが、議会議員として4期16年（議長として2期8年）にわたり地方自治の振興・発展に寄与するとともに、町政の進展に貢献し、その功績が顕著であると認められたことから、春の叙勲において旭日双光章を受章されました。桑折町役

場に受章の報告に訪れた片平さんは「町民の皆さまをはじめ、長年支援いただいた後援会や同僚議員各位、町関係者、そして家族のおかげ。この荣誉は皆さまと共に歩んできた証であり、『共にいただいた勲章』です」と周囲の協力に対し厚く感謝を述べました。

環境配慮型車両の寄附 福島信用金庫合併50周年記念事業



1_樋口理事長（右）から高橋町長（左）にレプリカキーが贈呈される 2_寄附されたプロボックス。側面には50周年記念のロゴが入っている

町は、福島信用金庫から「合併創立50周年記念」としてトヨタの「プロボックス（環境配慮型車両）」1台の寄附を受け、その贈呈式が5月8日、役場で行われました。同金庫は昭和51年5月1日に福陽信用金庫と伊達中央信用金庫が合併。今年、合併創立50周年を迎えました。樋口郁雄理事長が「近年多発する自

然災害への対応など、行政が現場の最前線で活躍する場面で役立ててもらいたい」とあいさつし、レプリカキーを贈呈しました。高橋町長は「SDGs推進町民会議のメンバーである福島信用金庫様からの環境配慮型車両の寄附であることは大変意義深い。有効に活用したい」と話しました。

広 告